

ふれあい

2013年 春季号 vol.50

2013年(平成25年)4月30日発行

日本医療機能評価機構認定病院 医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院 広報誌
発行所／広報企画室 石川県野々市市郷町262-2
TEL：076-246-5600 FAX：076-246-3914 http://www.nouge.net



病院理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様により高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

基本方針

1. 患者の皆様と人間性を尊重した温かい医療の提供に努めます。
2. 地域の医療機関と連携を行い、患者の皆様が安心と満足の得られる医療の提供に努めます。
3. 脳神経外科専門病院として、地域の救急医療の提供に努めます。
4. 急性期から回復期リハビリ、慢性期の一貫した医療を提供します。
5. 患者の皆様に対して、適切な言葉と態度を心がけるよう努めます。
6. 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。

患者の皆様への権利

私達は患者の皆様と人間性を尊重し、信頼に基づいた医療を行うため、患者の皆様への権利に関する宣言を掲げます。

1. 適切で最善の医療を公平に受ける権利
2. 検査や治療について真実を知り、十分な説明を受ける権利
3. 検査や治療を受ける権利と受けることを拒否する権利
4. プライバシーの秘密保持を得る権利
5. 病院や医師を自由に選択し、あるいは変更する権利

患者さんコーナー

岐阜県 中島 初男 様

暦の上では立春なのに、庄川の今年の冬は近年にない大雪になり毎日と云つていい程に雪片付けに大変です。でもおかげ様でMD法の脊椎手術をして頂いてからは苦にならない。「ありがたいなあ」と感謝の毎日です。ありがとうございます!!

金沢脳神経外科病院佐藤秀次院長先生始め諸先生看護士さんおかわりなく患者さん達を大切に守って下さってありがとうございます。私も白川川の親戚の方から「とにかく早くいって見てもらいたい」と二日も早く金沢脳神経外科病院へと急ぎました。初めておじゃましてなんとりっぱなホテル?かな。院内のすばらしさ。日をあらためて佐藤先生にみて頂き忙しい日程で手術の日を決めて頂き貴重な1日でした。診察して頂きすぐ手術の日も。平成22年1月16日でした。おかげ様で医学と院長先生のすばらしい腕前でMD法の脊椎手術あつと云う間の時。後痛みもなく傷口も少しの穴程度。今ではどこだったんだろうと思うほどわからな。快方も早く退院させて頂きこんな嬉しい事は一生忘れる事は出来ません。本当に心からお礼申し上げます。おかげ様になつて居り乍らもペンをとる事がおくれしました事深くおわび致します。

二伸 いつも「ふれあい」通信をありがとうございます。医学のすばらしいニュース、院内のお知らせなど新しい事はかなり地域の方々にもみて頂いて話しています。これからよろしくお願い申し上げます。佐藤院長先生、諸先生看護士さん達のご健康とお多幸をお祈り申し上げます。

腰椎変性疾患に悩む患者さんへのメッセージ



病院長 佐藤 秀次

腰椎変性疾患は長く付き合っていく病気ではありません。早く治し、痛みから解放された活動的な人生を取り戻すことが大切です。

最近、嬉しいことに手術治療を受けられた方々からの朗報が入ります。「手術を受けて良かった。」「前向きになれる。」これらの言葉は脊椎外科を行う私にとって何にも優る喜びです。

手術を受けて良かったと言われるためには、手術で良くして欲しいと患者さんが望んだ症状が術後十分に改善していなければなりません。さらに、手術によって痛みやしびれなどの新たな症状が作られ、後に残つてはいけません。

私は脊椎手術で患者さんが満足を得る不可欠な条件として、脊椎外科医の診断力と技術力を強調してきました。特に、脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニア、腰椎症、腰椎すべり症、側彎症などが複雑に合併している場合は、脊椎外科医の真の力が試

される事になります。

手術で術前よりも症状の悪くなった患者さんと向き合うことは、脊椎外科医にとって大変つらく、何よりも責任を重く感じるものです。多数の手術を手がけていると、困難な手術が増えていきます。今、私の周囲では良くなることを諦めていた、諦めさせられていた患者さんが希望の光を見つけたかのように動き始めています。これら多くの患者さんはいろいろな意味で高いリスクを持っています。しかし、私は逃げるわけにはいきません。彼らを受け止めるためには、彼らには行き場がないことを知っているからです。患者さんと共に挑戦するしかありません。

患者さんの生活を取り戻す手術、それが脊椎手術です。痛みと四肢の機能障害のため、残る人生に希望を失うことがないよう、私ども脊椎外科医はさらに研鑽を積み、成果を共有して、患者さんのための脊椎外科を展開していかなければならないと切に願うものです。



医療と 介護と の連携



今回より、脳卒中になられた方が安心して地域で質の高い生活を送ることができるよう地域の医療と介護資源を紹介していきます。

脳卒中は発症すると、長期的な『治療』や『リハビリテーション』とともに、退院後は、『介護サービス』等の支援が必要となる場合があります。このため、脳卒中になられた方が住みなれた地域で安心して質の高い生活を送るために、地域の医療や介護施設、そしてその従事者が連携し、切れ目なく『治療』や『リハビリテーション』、『介護サービス』等を提供することが必要です。

今回から『医療と介護の連携』と題し、近隣地域の様々な資源を紹介していきます。第一回目は、『治療』と『リハビリテーション』を行っている当院を紹介します。

当院は、脳神経外科専門病院として、脳神経外科医が365日24時間常駐し、救急医療に対応しています。さらに県内で唯一の脳卒中専門の集中治療室SCU（脳卒中ケアユニット）9床を備え、常時3名以上の看護師の配置、入院初日からリハビリテーションの実施など手厚い体制を整えています。

回復期リハビリテーション病棟においては、病棟組み込み式のリハビリテーション訓練室があり、充実した訓練機器を揃えるとともに



医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院

住所 石川県野々市市郷町262-2

TEL 076-246-5600

次回からは退院後も引き続き安心して過ごせるように、『介護サービス』について紹介していきます。

そして退院後の生活における介護への不安や疑問点に対しては、各社会保障制度を用いて、地域の関係機関等と連携しながら住みなれた地域での生活に備えていきます。

また多職種（医師・看護師理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療福祉相談員等）が会し、退院後の生活に焦点をあて、患者さんやご家族の意向に沿いながら安心して退院ができるようそれぞれの専門的視点から現状と今後の計画を話し合います。

病床数は、北陸最大の106床。1日でも早い社会復帰を目標に、365日リハビリテーションを実施するなど、病棟全体がリハビリテーションの場として、患者さんの社会復帰をサポートしています。

に、自宅での生活を体験できる宿泊体験室も設けています。

患者さんコーナー



白山市 久米田 外喜子 様

寒い冷えこみの冬でも積雪は少ない方でだんだん春に向っているようです。いつも「ふれあい」号を送っていたいただき読ませていただいております。

ずい分前の話になりますが平成十七年に左足が痛くて歩けなくなり整形外科や接骨院に通院していた時その場にいらつした方から「金沢脳神経外科病院で診察してもらったら」と聞きました。嫁さんについてきてもらい問診、いろいろな検査の結果腰椎すべり症という病気と診断され手術をした方がいいといわれました。手術の判断は患者さんがきめる事で病院ではむりに勧めませんといわれ、家族と相談して数日後院長先生にMD法の手術をお願いしました。

術後目がさめベッドの両側に夫と嫁さんの顔。気づいた時に涙がこぼれました。入院中は院長先生始め主治医、看護師さん方にお世話になりました。よ退院の日を迎えることが出来ました。

退院の前に院長先生のお話を聞く事になりました。その時の院長先生がおっしゃられた事とは「あなたの手術は紙二重の手術だったのだよ」と。退院しても「中腰」「重いもの」は絶対に持たないとかまかく日常生活について言われました。今の日常が元気に出来るのも自分の養生、家族の協力があつたからだといわれた言葉は一生忘れられません。

術後八年たち当時六十七才で今日元気にすごせるのに感謝をこめて乱文乱字ながらペンを取らせてもらいました。古い病院も取り壊され新しい病院の発展をお祈りします。

平成25年度入職式

4月1日に入職式が行われました。今年度の入職者は、看護部15名、薬剤部1名、検査部1名、リハビリテーション部14名、医療秘書室2名の計33名です。

入職式翌日から、当院の専門性や特殊性を学び、チームの一員として職場に適應できるよう1週間の研修期間がありました。各部署の担当者が交代で講師となり、配属部署以外の部署も知ることができ、より当院の魅力と多職種によるチーム医療の重要性を理解してもらえ、とてもいい機会となりました。

また院内だけでなく、院外での新入社員公開セミナーにも参加し、とても充実した研修内容となりました。

共に学んだ1週間、いつの間にか自然と「和」が生まれ、ランチタイム交歓会の際には、時間が足りなくなるほど盛り上がりました。この同期同士の深い絆が、今後は他部署の垣根を越えてチーム医療につながるよう期待しながら、その成長を温かく見守っていききたいと思います。

入職者の皆さん、まだまだ緊張する毎日だと思いますが、これまで学んだことを活か

し、先輩方からたくさんの方の知識と技術を習得し、一歩一歩前に進んでいってくださいね！

『入職にあたり一言！』

〓無記名による研修後のアンケートでは、皆さんの意気込みと決意が満載でした！その一部を紹介します〓

〓大変雰囲気良く、新人同士も良い関係で今後も期待できそう。

〓同期に恵まれた。辛いこともあると思うけど頑張ります！

〓職種を越えて様々な人とつながりを持ち、チームとして患者さんを支えられようになりたいです。

〓不安な事もたくさんありますが、笑顔を見れば患者さんと接して、信頼される看護師を目指します。

〓職員の笑顔が素敵でした。頑張ります！

〓どの職員の方の話を聞いても、当院の職員として働くことが誇りに思える内容でした。他の職種の業務内容を知ることが、これから働く中で相手を思いやり、理解する上で重要だと感じた。

〓患者さんの安心や満足のため、私自身できることを精一杯提供していきたいと思っています。

〓研修を通して、とても素敵な病院に入職でき、良かったと思いました。周りの方々の話を素直に聴き、愛される職員になろうと思います。



患者さんコーナー

福井市 竹内 恵治 様

快適すぎる毎日

立春も過ぎたといえ、寒い日が続いてお

ります。ふれあいの読者のみなさま、お元気で

過ごしていること存じます。永年勤務しました会社をリタイアしてから2年半、家業の農業に従事しながら孫たちに囲まれ、ハッピーな毎日を送らせていただいております。68歳のジジイです。

でも、快適な毎日を過ごせるまでに至る十数年間は、腰痛を抱えての単身赴任の勤務が続きました。大都市でもエスカレーターやエレベーターのない地下鉄の階段は、今思い出しても気分がぐんぐん下りてしまふほど辛いものでした。また手術前の3年余りは、就寝時に仰向けやうつ伏せもままならず、エビのように横になつて体を曲げざるを得ず、到底熟睡など望むべくもなく、はてはトイレまで難渋する始末でした。このような状態でしたから腰痛に良いと聞いたことはすべてやりました。整形外科の専門病院はもちろ

ん総合病院、針灸、整体、マッサージ等々、ある病院では手術を勧められましたが、2カ月の入院とか完治は難しいとかいわれ、2の足を何度も踏みました。そんな時期に仕事関係の知人（この方も当病院にて手術の手術をされて全快）を通じて金沢脳神経外科病院を紹介され、佐藤院長先生の診断により脊柱管狭窄症と判明、運命の手術日（平成23年7月20日）を迎えたわけでありました。

手術ベッドにうつ伏せに寝て麻酔直前まで腰の痛かったこと。院長先生のMD法によるご執刀のもと、神経を圧迫していた患部の切除が無事終了。麻酔から覚めて仰向けに寝ているのに腰が痛くない！そしてなんと翌日には病棟の廊下を歩けたことで二度ビックリです。手術後半年は無理せず徐々に腰を慣らすようにとのリハビリの先生からも指導いただき目下退院。以前の私を知っている人たちが、歩く姿勢が良くなったね、とよく言われるまでになりました。ある農業も今では難なくこなしております。油断は禁物ですが、毎日がこんなに快適すぎて本当に良いのだろうか？とさえ思う今日この頃です。

佐藤院長先生そしてスタッフのみなさん、本当にありがとうございました。

院外講演活動等 (平成25年2月～3月)

2/19 耳寄りな講演会
「脳卒中って？」山本副院長

2/22 野々市北信会
創立40周年記念
講演会
「腰痛の原因と治療について」
佐藤病院長

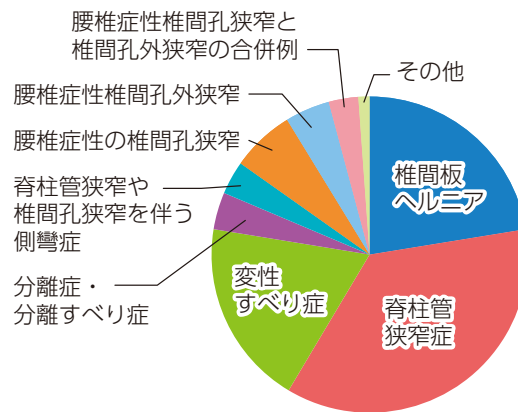
3/1 これからの地域での
認知症治療を考える会
【講演】
「地域でみる認知症
～病診連携の役割～」
佐藤病院長

3/29 美川野々市
地区病診連携の会
「認知症における治療」
山本副院長

平成24年 腰椎手術実績

平成24年の脊椎手術件数は323件で、当院の手術件数の7割以上を占めています。その中でも腰椎手術は263件で脊椎手術の8割以上を占めており、その内訳は次の通りです。

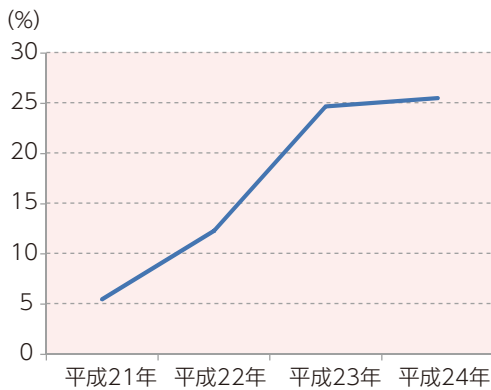
〔平成24年 腰椎手術の内訳〕		(件)
椎間板ヘルニア		59
脊柱管狭窄症		95
変性すべり症		50
分離症・分離すべり症		10
脊柱管狭窄や椎間孔狭窄を伴う側彎症		9
腰椎症性の椎間孔狭窄		17
腰椎症性椎間孔外狭窄		12
腰椎症性椎間孔狭窄と椎間孔外狭窄の合併例		8
その他		3
		263



また近年件数が増えているのは腰椎すべり症の際に行う最小侵襲固定術です。全腰椎手術件数の中で占める割合が平成21年から年を追うごとに増加しています。平成23年7月に導入したO・A・R・Mとナビゲーションシステムにより、手術の正確性と安全性がより高まりました。

〔全腰椎手術で固定術の占める割合の推移〕 (%)

平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
5.5	12.3	24.7	25.5



部門目標発表会

3月23日に「部門目標発表会」を開催しました。これは、職員一人一人が経営に参加するという病院長の方針に従って、今年から行うことになりました。それぞれの部署が、財務、人材育成、質の向上など5つの観点から業務目標をたて、具体的な方策を考え発表しました。これまで見えなかった他部署の実情を知ることができ、改めて自分の部署の「これから進むべき方向性」を見直すきっかけになりました。



第9回院内QC活動発表大会

3月1日に第9回院内QCサークル活動発表大会を開催しました。審査の結果、第1位は栄養部の「嚥下訓練食の濃度を統一しよう」、第2位が3病棟の「退院指導を出来るようにしよう」、3位が5病棟・リハビリセンター混合チームによる「身体抑制の適正化に向けて」でした。3サークルは、病院脳神経外科学会等の全国の学会で発表します。



クラブ活動紹介

5 アドベンチャー・サークル

私たち「アドベンチャー・サークル」は「自然と戯れ心も身体もリフレッシュ」を目的に平成23年にスタートしました。現在20代から50代までの24名の登録があります。

主な活動内容です。ラフティング・仲間と力を合わせて白波の立つ激流に突っ込む、思わず出る叫び声とどきどきの笑顔、最高に楽しい川の旅です。シャワークライミング・完全装備に身を包み、目指すは川の源流部、大きな一枚岩を使って天然のウォータースライダ、エヌラルドグリーンの滝壺へダイブ、キラキラの木漏れ日を浴びて幻想的な気分も味わえる大人の本気の川遊びです。ツアー後は

温泉でまったり、お肌つるつる。バーベキューで盛り上がり、ご当地スイーツを堪能したり。自然の中で、思い切り体を動かし、思い切り笑い合い、思い切り食べ、仕事や日常以外の時間、空間、場所、仲間を楽しんでいます。親切丁寧＆ワイルドなガイドさんがレクチャー！同行してくれるので安全面はバッチリです。泳げなくても大丈夫。体力に自信がなくても自分のペースで楽しめます。

今年は能登島でのシーカヤックや尾瀬トレッキング等も予定しています。圧倒的な開放感と達成感と安心感を一緒に体験しませんか？

